僕らはいっしょに暮らすだろうか？

「ビミョウな表情の集合写真よね」実家から僕らのマンションに帰る車の中。デジカメの写真を見ながら妻が笑う。親世帯である両親と独身の姉、そこに子世帯である僕ら四人家族が同居する「2.5世帯」。その暮らしを申し出るために、僕らはお盆に帰省していた。思いはすべて伝えきった。父母姉の前向きな気持ちも伝わってきた。でも、カンタンに答えの出せる話じゃない。何度も集まって話し合おう。それがこの夏の結論だ。共働きの僕ら夫婦の育児を助けてもらえる。

とはいえ血のつながらない親や姉と住むことになる妻。可愛い孫たちと暮らせる。とはいえ住み慣れた我が家を建て替えることになる両親。親父たちのこれからを、ともに支えていける。とはいえ三つの異なる生活がひとつ屋根の下に集まる新しい暮らしに、姉も不安はあるだろう。きれいごとだけでは語れない2.5世帯。

それでも、離れていた家族が団結し、不安とは立ち向かい、よろこびはわかち合う。

こんな時代だからこそ、家族で集住する意義はある。僕はそう思う。「・・ヘーベルハウスの」「2.5世帯住宅」。後部座席で眠る長男と長女が寝言でつぶやいた。この一週間で子どもたちがすっかり覚えてしまった単語だ。「あ、メール。お義姉さんからだ」スマホをみる妻。「なんだって？」「ふふふ。恵さんが笑って暮らせる家にする。由紀子ネエさんからの提案です、だって」目を潤ませた妻は窓の外に顔を向ける。ここに一枚の写真がある。その表情はどこかボンヤリとして、どこか心もとない。だがそのまなざしはしっかりと前を見すえている。家族との未来を真剣に見つめている。夢や理想ではなく、前向きな願いを現実的に考えて。そう。

僕らの2.5世帯は、動き始めている。

お盆篇〈終〉

2.5世帯住宅で、暮らしませんか？

考えよう。答はある。

ヘーベルハウス

Free Call 0120-917-555 電話受付時間／10:00～17:00（火曜・水曜定休日）
※地域により留守番電話になっている場合がございます。
http://www.asahi-kasei.co.jp/hebel/

［個人情報の利用目的について］お問合わせ・資料請求でいただいた個人情報は ●カタログ・資料の送付、見学会・セミナー等の各種イベント等のご案内 ●建築計画の提案、図面・書類等の作成のための各種調査・サービスのご提供 ●商品やサービス等の開発・改善のためのアンケート調査の実施等に利用させていただく場合があります。詳しくは「プライバシーポリシー」として弊社ホームページにて公表しています。

HEBEL HAUS 40th ANNIVERSARY